

研究テーマ「人間としての在り方生き方の自覚を目指した道徳教育」

広島県立可部高等学校

1 研究テーマ設定の理由

本校は平成18・19年度の2年間、文部科学省より「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」の指定を受け、道徳教育の推進に取り組んでいる。

高等学校学習指導要領総則において、高等学校における道徳教育は「人間としての在り方生き方に関する教育」とされており、その在り方についていくつかの実践を通して研究することとした。

2 研究の特色、特に目指したこととその手立て

研究課題として、「生命を尊重する心や自己肯定感等をはぐくむ道徳教育」、「特別活動や各教科、総合的な学習の時間における指導の工夫や有機的な関連の在り方」の2項目を選択している。よって、この課題に関連する実践を中心として、学校の教育活動全体を通じて取組みをおこなった。

また、道徳的心情・道徳的判断力・道徳的实践意欲と態度などの道徳性を総合的に育成するよう配慮しながらも、特に道徳的判断力の育成を重視して取組みをおこなった。

道徳の授業にはさまざまなものがあり、また、さまざまな観点で分類可能である。ここでは、理性、感性、行動の3領域に分けてとらえることにする。学習指導要領では、道徳性は、道徳的心情、道徳的判断力、道徳的实践意欲と態度という用語で説明されているので、道徳の授業はその用語を用いて分類した方がよいのかもしれない。しかし、もっと広く心の教育という視点で考えると、カウンセリングの説明でも用いられるような、理性、感性、行動の3区分が適切であろう。(中略) さて、理性、感性、行動の3区分で考えたとき、発達に応じて、どの部分を強調するかということとは異なってくる。(中略) そこで、小学校高学年、中学、高校と成長するにつれ、自分の頭で考えるということを重視することが大切なこととなる。つまり、理性の領域に力を入れるということである。 (下線：発表者)

—— 新井郁男・犬塚文雄・林泰成『道徳教育論』放送大学教育振興会、2005、pp.59-60 ——

3 研究の評価

平成18年度「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」の評価の概要

方法	観点	生徒の変容等	成果等
広島県道徳教育研究協議会実施「生活などに関する意識調査」結果の分析	自己肯定感	年間を通して「自己効力感」の意識が高まっている。	自己肯定感がはぐくまれているのではないかと。
		年間を通して「自己実現力」の意識が高まっている。	
	道徳的判断力	年間を通して「論理的思考力」の意識が高まっている。	道徳的判断力に関わる力が養われているのではないかと。
	その他の道徳性	年間を通してすべての項目で意識が高まっている。	全体的にその他の道徳性が養われているのではないかと。
各取組み後のアンケート集計結果や感想文等の分析	生命尊重	講演会終了後のアンケートの多くに、生命を大切にしようとする内容の記述が多く見られた。	講演会は生命を尊重する心をはぐくむのに有効であった。
	道徳的判断力	パネルディスカッション終了後のアンケートの多くに、行為や価値の基準とその根拠について考えることの重要性に関する記述が多く見られた。 LHR研究授業終了後のアンケートの多くに、さまざまな見方考え方を理解することの重要性に関する記述が多く見られた。	討論会は道徳的判断力に関わる力を養うのに有効であった。 LHR研究授業は道徳的判断力に関わる力を養うのに有効であった。
	その他の道徳性	その他の取組み終了後のアンケートの多くに、個性、自律、責任と義務などの重要性に関する記述が多く見られた。	その他の取組みは総合的に道徳性を養うのに有効であった。

※平成19年度については「生活などに関する意識調査」全3回終了後に評価をおこなう。

取 組 み の 概 要	
平成18年度	<p>(1) 教職員研修会の実施・・・研究者・指導主事等</p> <p>(2) アンケートの実施・・・広島県道徳教育研究協議会実施「生活などに関する意識調査」(全3回)</p> <p>(3) 先進校視察・・・福岡県立稲築志耕館高等学校</p> <p>(4) ボランティア活動 清掃活動、落書き消し、福祉施設での歌や劇、幼稚園や保育所での紙芝居等の活動を取り入れ、地域との連携を図るとともに、自己肯定感や社会貢献の態度を養う。</p> <p>(5) 生徒指導との連携・・・発表事例① 規範意識を育成するために、ロールプレイなどを取り入れた生徒の心に響く生徒指導をおこなう。</p> <p>(6) LHR研究授業の実施 価値判断や行為の基準に関する内容を中心とした、協議や討論の形式によるLHR活動をおこない、多様な価値観や人生観に触れるとともに、集団活動を通して開かれた人間関係の確立を図る。</p> <p>(7) 講演会の開催 本校にゆかりのある方々に講演を依頼し、自然観や人間観、生命、人間の尊厳などについての理解を深める。</p> <p>(8) パネルディスカッションの実施・・・発表事例② 設定されたあるテーマについて、学識経験者、教員及び生徒など様々な分野から構成されるパネリストによる討論や意見交換をおこない、現代社会が抱える倫理的課題や人間としての在り方生き方について、生徒が思索を深めることができるような機会を提供する。</p>
平成19年度	<p>(1) 教職員研修会の実施・・・研究者・指導主事等</p> <p>(2) アンケートの実施・・・平成18年度に同じ</p> <p>(3) 先進校視察・・・奈良県立五條高等学校</p> <p>(4) ボランティア活動・・・平成18年度に同じ</p> <p>(5) 生徒指導との連携・・・平成18年度に同じ</p> <p>(6) LHR研究授業の実施 自分とは異なる他者の見方考え方を参考にしながら、あるテーマについての自分の考えを記述する作業を通して、「考える」ことの意義を探り、他者存在について理解を深める。</p> <p>(7) 講演会の開催・・・平成18年度に同じ</p> <p>(8) 各教科の研究授業の実施・・・発表事例③ 理科・外国語科・芸術科等の各教科で、生命と科学技術の関係、人間の尊厳や人生の意味、豊かな感性等の内容について研究授業をおこなう。</p>

取 組 み 対 象 と 時 期														
	平成18年度							平成19年度						
	1学期		2学期			3学期		1学期		2学期		3学期		
1年	ロール プレイ	ボ ラ ン テ ィ ア	デ ィ ス カ ツ シ ョ ン	講 演 会	ボ ラ ン テ ィ ア	L H R 研 究 授 業	講 演 会	ロ ー ル プ レ ィ	L H R 研 究 授 業	ボ ラ ン テ ィ ア	ボ ラ ン テ ィ ア	各 教 科 研 究 授 業	講 演 会	
2年														
3年						L H R 研 究 授 業							L H R 研 究 授 業	
教員		研 修			視 察					研 修		研 修	視 察	報 告 書 作 成